

銚子の商工業

銚子市は、利根川が江戸時代に整備されたことにより、江戸から銚子までの利根水運が開かれ、主に米などを江戸に運ぶ拠点となり、その後、漁業と醤油醸造が発展し港町が形成されました。

銚子漁港は、利根川河口にあり、沿岸・沖合漁業を主に日本国内でも有数の水揚げ量(平成23年から6年連続日本一)を誇っています。

水揚げの中心は鯛、鯖、秋刀魚などであり、その魚を活用した水産加工業が発展してきました。多数あった缶詰製造会社は、今では銚子市内に2社のみとなっていますが、はんぺん、つみれ団子などの練製品製造業は盛んであり、大手デパートやコンビニエンスストアへ卸売りをしています。また、鯖、秋刀魚の干物加工業者も多く首都圏を中心に出荷しています。これらの魚のもう一つの販売として、水揚げした後、冷凍した状態で東南アジア、中東、アフリカなどへ輸出されています。

「銚子つりきんめ」は、平成21年に千葉ブランド水産物生鮮第1号として千葉県から認定され、干物などの加工品を製造し販売しています。



写真1 銚子つりきんめの干物

水産加工会社は、従業員の高齢化対策や慢性的な人出不足に伴う従業員確保のために、中国やベトナムなどから技術の習得を目的に外国人技能実習生の受入れを行っています。

水産関連の産業には、漁船の修理、整備業・水産物用の製箱業、漁網の販売、船舶用通信機器販売、水産物冷凍倉庫業など多くの事業を行っています。

銚子市を代表するもう1つの歴史ある産業には、ヤマサ醤油(1645年創業)、ヒゲタ醤油(1616年創業)などを中心とした、醤油醸造業も盛んです。地元の醤油を活用した商品(佃煮、煎餅、和洋菓子)の販売も市内の観光土産品として人気が高いものとなっています。特に「ぬれ煎餅」は他の地域には無い独特の食感、風味を醸し出しています。

銚子市の商業の歴史は、銚子漁港と共に発展し、銚子市の商店街は、飯沼観音の門前に位置する「銚子銀座商店街」、飯沼観音の裏手、堂の下界限から川口へ向かう「銚子東銀座商店街」、JR 銚子駅近辺の「駅前商店街」の3つが中心的な存在となっています。何れの商店街も、年々店舗数は減少していますが、高齢者など近隣住民には欠かすことが出来ません。(飯沼観音の圓福寺は坂東33観音霊場27番札所です)

平成22年3月には、大型のショッピングセンターが郊外にオープン、また、スーパーマーケット、ドラッグストア、電化製品店などの大型小売店を利用する人々が時代とともに増加し、市街地の商店は苦戦を強いられています。そのため、共存共栄を目的として商店によっては、電子マネー(WAON)を使えるようにし、若者やファミリー層を取り込む店舗もあります。

銚子銀座商店街では、買物弱者対策から市内有志が中心となり、毎週金曜日に地元客を商店街に訪問していただく仕組みとしての「金曜日市」を開催し、干物、惣菜、花などを販売しています。また、平成23年6月からは、毎月第4日曜日に軽トラックでの販売を中心とした「門前軽トラ市」を実施し、飲食、惣菜、雑貨、骨董品などを販売し市内外から買い物客を呼び込んでいます。駅前商店街では、地域活性化策の一環としてフリーマーケット(年3回)を開催するなど各商店街が工夫を凝らし、来店客の増加策を講じ店舗の存続に努めています。JR 銚子駅から利根川に向かう大通り沿いにある



写真2 駅前商店街のフリーマーケット

にある銚子セレクト市場では、銚子の名産品が多数揃っており、観光客で賑わっています。

銚子ポートタワーに隣接しているウオッセ21では、銚子港に水揚げされた新鮮な魚介類を豊富に取り揃えた店舗や飲食店、銚子のお土産品が揃っている施設となっています。年間を通じてイベントを実施し観光客だけではなく、地元市民の来訪者も多くなっています。

また、伝統工芸品として有名なのは、漁船の進水式や結婚式のお祝いなどで製作される大漁旗、千葉県指定無形文化財、千葉県指定伝統的工芸品の第1次第1号指定の伝承織物「銚子ちぢみ」があり、観光土産品としても人気があります。

現在、銚子市においては新たな地域活性化策として「スポーツツーリズム」への積極的な取り組みが見られ、NPO 法人銚子スポーツコミュニティーによるスポーツ合宿施設が平成30年3月にオープンし、スポーツタウンを目指す先駆けとなっています。その中でも、「銚子マリーナトライアスロン大会」、「さんまマラソン(旧銚子半島ハーフマラソン)」には毎年多くの参加者があります。平成28年には初めて自転車での耐久レース「犬吠埼エンデューロ」が開催されました。これらで来銚された人々が宿泊、飲食、お土産品の購入によりもたらされる経済効果は今後も非常に重要です。

平成26年度から銚子商工会議所の主催による「銚子創業スクール」が毎年開催され、独立開業を目指す人々の支援を行っています。銚子市では、平成27年度から「銚子市空き店舗活用事業補助金制度」を創設し、指定地域内の空き店舗活用をする事業者には、家賃補助、改装費補助を実施しておりその結果、毎年、飲食業やサービス業を中心に創業店舗が着実に増加しており、既存の店舗との共存により商店街等の活性化に繋がっています。

このように、銚子市は気候風土に恵まれた地域であり、太平洋からの豊富な漁業資源、大地のもたらす恵みである農作物(キャベツ、大根、トマト、メロン等)は、6次産業化の更なる可能性を持っており、銚子市の商工業に寄与するだけでなく、国内外への販売を強力に推進するチャンスを持った地域と言えます。